

総財務委員会

① 適正な財務管理と予算執行

各事業の適正な予算執行のため、会計ソフトやインターネットバンキング等の活用により、迅速な会計処理を行うよう努めました。また、年度途中での予算執行状況を理事会で報告し、各委員会で確認できるように努めました。

当協会では令和元年度に公益目的財産残高の費消を完了しました。今後の協会運営のための安定した財政運営を心掛けました。

② 事務管理体制の整備とインボイス制度導入対応

事務局では、諸謝金、日当、委託費等の支払いや支払調書の作成など煩雑な作業が多く、過大な負担がかかっているため、引き続き会計ソフトやインターネットバンキングなどの活用により、事務手続きの簡略化、合理化に努めました。

また、令和5年10月から始まったインボイス制度への対応として、会員の皆様のインボイス登録番号の整備、免税事業者等の非適格請求書発行事業者となる会員への支払額の同意書の配布などを行いました。

③ 規則等の見直し

当協会の定見、規程類について、法令や実態との整合性の確認作業を継続し、必要な場合は適宜修正を行い、改正した規程をRE A - N E Tや当協会WE Bサイトの会員専用ページに迅速にアップすることで、会員の皆様への情報提供に努めました。

今年度は、次の諸規定等の改正、整備を行いました。

- ・文書管理規程
- ・会員慶弔規程
- ・委員会規程
- ・電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程

④ 各種会議の運営とサポート

総会の開催準備、理事会や各委員会の会議の円滑な運営をサポートするよう努めました。

定期的開催された理事会において、検討、協議、決議した事項及び報告事項について議事録を作成し、理事会終了後にできる限り迅速に、RE A - N E T、当協会WE Bサイトの会員専用ページを通じて、会員の皆様に情報提供を行いました。

⑤ その他

他の委員会の所掌に属さない事項に対処するとともに、事務局運営の円滑化をサポートすることに努めました。